

学校施設の計画見直しを

質問者 榎本 義輝

本町の児童・生徒数は、昭和59年のピーク時と比較すると約50%減で10年後にはさらに下回ってくると予想される。

また、学校施設長寿命化計画では鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、および重量鉄骨造については、躯体が健全であれば長寿命化により目標使用年数を80年と設定しているが、児童・生徒数の減少を考慮すると、学校統合や小・中一貫教育を検討し、計画の見直しを図るべきではないか。所見を伺う。